新　木曜の怪談　サイボーグ　Ｃｙｂｏｒｇ（1996）

メディア TV
ジャンル
製作国 日本
色彩 Color
TV放映 1996/10/17 ～ 1996/11/21
木曜日
１９：５４～２０：５４
フジテレビ

【解説】
　アメリカ留学を終えて帰国した戒堂晃は、母や姉達に便利に使われている、気弱で手先の器用な少年である。しかしその実体は、留学中に遭った事故により脳以外の部分を全て改造された、バトルタイプのサイボーグだった。彼は合衆国秘密組織の密命を受け、エージェントＧ．Ｏ．のサポートと共に、難事件を秘密裡に解決していくのだ。
『木曜の怪談』をリニューアルした『新・木曜の怪談』の中で放送された。“生徒を洗脳する学習塾”“新開発の薬物による急速な筋力強化”“超音波による無差別殺人”など、続発する近未来的な事件に立ち向かう。が、それらはあくまで単発的なものであり、対する組織もただアメリカ、という巨大なイメージに頼るばかりで実体は掴めず、やや物足りなさが残る。自分の身体の性能も満足に知らされぬまま、正義に立ち向かうことを要求される晃にも、描写が足りないように思う。同じく堂本光一主演だった『銀狼怪奇ファイル』の新番組予告を見た者なら、誰しも想像したであろう設定をそのまま安直に映像化すると、こんなドラマになりはしないか？　続編のありうる設定なのが救いだった。
　とはいえ、全編を通して少しずつ描かれる、晃とガールフレンドの優香との爽やかな関係は、全編の短さに対して適当なものだろう。サイボーグでありながら、晃はホットな心の持ち主のままで、それが性能を凌駕していることすらある。『木曜の怪談』という枠の特性もあってか、デジタル合成を多用し、ややそこにひきずられた感もあるが、サイボーグの表現はやはり美しい。最終話のサイボーグ・アキラとアンドロイド・アキラの、夜の遊園地のチェイスや死闘は、見事だった。他に頭部のディスクを入れ替えて、高速モードになるシーンも良いが、白眉は第１話のおまけ「サイボーグのクッキングコーナー」であろう。くだらなさ加減が絶妙だ。全６回。

【クレジット】

演出	本広克行	
	小野原和宏	
企画	河合徹	
	和田行	
プロデューサー	稲田秀樹	
脚本	武上純希	
	三上幸四郎	
特撮監督	和田卓也	
出演	堂本光一	戒堂晃
	升毅	Ｇ．Ｏ．
	りょう	アミ
	朝加真由美	
	櫻井淳子	
	佐藤仁美	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.

高橋直気
竹内結子
上田耕一
矢島健一
松嶋亮太
益子和浩

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.